

令和元（2019）年度 島根県立隠岐養護学校 学校評価報告書 2020.3.5

教育目標	
児童生徒一人一人の障がいや発達に即した適正な教育をおこない、仲よく、明るく、たくましい人間への成長発達をめざす。	
学校経営方針	
(1) 児童生徒一人一人の教育的ニーズに即した教育課程を編成、実践する。実践にあたっては行事との相乗効果を図る。 (2) 児童生徒が主体となる異年齢活動を展開する。 (3) 関係機関との連携を図り、自立と社会参加に向けた学習を積み上げる。 (4) 地域における特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 (5) 機会をとらえ、特別支援教育に対する地域の理解を進める。	

【教職員、保護者アンケート評価基準】	【4段階評価基準】
1：十分達成できている（そう思う） 2：おおむね達成できている（だいたいそう思う） 3：どちらかといえば達成できていない（検討すべきである） 4：ほとんど達成できていない（改善すべきである） 5：わからない	A：十分に達成できている B：おおむね達成できている C：どちらかといえば達成できていない状況 D：ほとんど達成できていない状況

項目NO.	児童生徒評価 質問項目	アンケート回答 (高⇄低、わからない)					教職員自己評価・改善策
		1	2	3	4	5	
1	先生は、授業中わかりやすく教えてくれていますか。	20%	80%	0%	0%	0%	【小中学部】 学部を越えた関わりが見られ、良い集団が形成されていると感じる。児童生徒は学習活動にしっかりと取り組んでいる。引き続き授業の充実に向けて努力していきたい。 【高等部】 学校生活への期待をもって行事や学習活動に臨んでいる。授業がわかりやすいと概ね評価しているが、達成感については評価の低い生徒がいる。自己肯定感の低い面もあると思われるが、生徒自身が目的意識をもって進んで取り組める授業作りをしていきたい。挨拶やルールは、十分にできていないと自覚する生徒が複数いる。生徒会活動を通して重点的に取り組んでおり、重要性があるので日常的に継続して指導したい。教員が困った時、悩んだ時に話を聞き、いつもかけて声をかけてくれるかという問いに評価の低い生徒がいる。学部集会等の機会に学校生活でつらいこと苦しんでいることがあるかとのアンケートには全員「ない」と回答があったので、概ね良好な人間関係が築かれていると思うが、今後も日頃から生徒の様子をしっかりと見つけ、親しく声をかけていき、生徒との信頼関係を深めていくようにしたい。 【生徒指導部】 日々の指導の成果があると感じた。児童生徒の長所を活かしながら継続して指導していくことで、生徒の自尊感情や積極的に行動しようという気持ちを育てていきたい。
2	できた、わかった、もっとやりたいと思った授業はありましたか。	10%	60%	10%	10%	10%	
3	授業や学校行事は楽しいですか。	20%	60%	10%	0%	10%	
4	授業や学校行事にすすんで参加したと思いますか。	40%	50%	10%	0%	0%	
5	学校(教室)に毎日行くことは楽しいですか。	50%	30%	20%	0%	0%	
6	先生は、学校のきまりや社会のルールをきちんと指導してくれていますか。	50%	40%	0%	0%	10%	
7	あなたは、学校のきまりなどをしっかり守ったと思いますか。	20%	40%	20%	0%	20%	
8	あなたは、すすんで挨拶をしたり、言葉づかいに気をつけたりすることはできましたか。	0%	60%	30%	0%	10%	
9	あなたは、学校のクラスの友達や先輩、後輩にいじわるをされたことがありますか。	0%	0%	0%	90%	10%	
10	あなたは、学校のクラスの友達や先輩、後輩にいじわるをしたことがありますか。	0%	0%	0%	90%	10%	
11	あなたは、学校のクラスの友達や先輩、後輩がいじわるされているのを見たことがありますか。	0%	0%	0%	90%	10%	
12	先生は、進路や友人関係などで、困った時、悩んだ時に話をしっかり聞いてくれますか。	0%	60%	0%	10%	30%	
13	先生は、いつも気にかけて声をかけてくれていると思いますか。	30%	50%	0%	10%	10%	
14	学校の勉強や生活は、自分の将来に役立つものだと思いますか。	60%	20%	10%	0%	10%	
15	学校の勉強や生活をとおして、昨年よりできることが増えたと思いますか。	50%	20%	10%	10%	10%	
16	教室、作業室、体育館、校庭、トイレ、プレイルームなどは使いやすいですか。	30%	60%	10%	0%	0%	

分掌等	項目NO.	教職員評価					保護者評価					自己評価		学校関係者評価			
		評価項目					評価項目					評価・改善策等		評価・意見			
		アンケート回答 (高⇄低、わからない)					アンケート回答 (高⇄低、わからない)					4段階評価		4段階評価			
学校運営	1	・教職員が学校経営方針を意識して、職務に取り組むことができたか。	31%	65%	0%	0%	4%	1	・本校の教育活動を通して、お子様の成長・発達が見られましたか。	60%	30%	5%	0%	5%	B	学校経営方針は定期的に具現化の状況を各学部・分掌とともに確認していくようにしたい。保護者の評価は高いが、引き続き授業の充実や子どもの姿を丁寧に伝える努力をしていく。	・学校運営では大半の教職員が目標達成と評価し、保護者の評価を含め、よく頑張っていることが伝わってきた。児童生徒の授業の評価もよい。学校が楽しく、よい環境で学んでいる。いじめもない。 ・小中学部については、教職員が子ども一人一人の状態をよく見つけて、丁寧な指導をしている。また、学校と保護者の間の連絡帳は、双方に大切な情報交換の手段であり、大変と思うが、継続してほしい。 ・高等部については、生徒が受け身でなく、それぞれ主体的に取り組んでいる。あいさつ、マナーは習慣化するように形の面から指導していくことも必要。 ・学校からの広報物を頻繁に出してもらい、様子がよくわかる。 ・主体的・対話的で深い学びについては、特に本校では大切に指導の中核だと思っているので、継続して取り組んでほしい。 ・教職員のニーズに応じた研修ができていいる。センター的役割については、保育士へのアドバイス等の支援により、人材育成にもつながっている。 ・「教職員の心得」は、教職員が教育活動の基盤を共通理解する上で大切。引き続き充実を図ってほしい。 ・現場実習の受け入れ先が増加しており、地元企業の理解が高まっている。 ・安全点検については、マンネリ化しないように継続してほしい。施設の維持管理等については、保護者からの要望があれば対応してあげてほしい。 ・評価を受けて、できていない点は改善をしてほしい。また、同じ学校の教員として「わからない」という評価はなくなるように努力してほしい。
	2	・計画的で早めの提案ができたか。	27%	65%	4%	4%	0%	2	・教職員は児童生徒の活動について保護者に分かりやすく伝えていましたか。	40%	55%	5%	0%	0%	B	主事主任を中心に組織的に、より計画的で早めの提案が徹底されるようにしていく。保護者へ文書や口頭で具体的に、丁寧な説明を行い、よりわかりやすく伝えていく。	
小中学部	3	個々の重点目標を達成するために、支援等を検討し、改善を図りながら授業に取り組んでいたか。	35%	62%	0%	0%	4%	3	児童生徒が学校生活や学習活動に意欲的に取り組んだり、楽しみにしたりしている様子が見られましたか。	37%	63%	0%	0%	0%	B	複数の教員で行っている授業では、授業者全員で児童生徒の様子や支援の改善点を話し合いながら授業を進めることができた。前期の反省をもとに、1対1で行っている授業についても複数の教員で内容や支援方法を考えているよう話し合う機会ももった。今後は記録の取り方を工夫するなど、振り返りを次の授業の改善につなげていけるよう努めていきたい。	
	4	日々の送迎や連絡帳、懇談や学担当保育士連絡会などを利用し、保護者や仁万の里児童部に、授業のねらいや児童生徒の様子を伝えていたか。	38%	58%	0%	0%	4%	4	授業のねらいや活動内容、児童生徒の様子が伝わりましたか。(連絡帳、日々の送迎時、懇談など)	50%	50%	0%	0%	0%	B	日々の連絡帳や懇談の機会に児童生徒の様子やねらいを丁寧に伝えるよう心がけた。また、学級便りなどでもねらいが伝わるような表現を意識して取り組んだ。今後も引き続き意識して取り組んでいきたい。	
高等部	5	生徒が「もっとやりたい」と思えるよう、個々の生徒の課題や興味関心をもとに授業を行い、実践の振り返り・評価をすることができたか。	23%	77%	0%	0%	0%	5	生徒は学校生活や学習活動を楽しみにし、目的意識や達成感をもって取り組んでいますか。	43%	57%	0%	0%	0%	B	・行事にむけての学習をはじめとして、それぞれの活動への見通しを持ち、生徒同士関わり合って協力して取り組んでいた。学習への目標をもとに振り返り、自らの取り組みの姿勢や成果、課題となることなどを自己評価するようにし、次の活動につなげた。生活単元学習や進路学習など、3年間を見通してつなげた力や具体的な学習内容を明確にして計画的にすすめ、生徒が意欲的・主体的に取り組むことができるようにしていきたい。	
	6	生徒の実態や学習課題に応じた学習グループを編制することができたか。(国・数・作業：縦割り 美・音・体：全学年 中高音楽進路・各学年 生単は内容により学年をまたいで 個別対応：自立・国数・生単等)	28%	72%	0%	0%	0%	6	挨拶やマナーなど日常生活に必要なことがらや、生活技術を高めるために、適切な支援がなされていると思いますか。	29%	64%	7%	0%	0%	B	・縦割りで様々なグループを編制して取り組んだが、お互いがかかわりあい、学び合う場面が多く見られ、集団での学習の効果を感じた。個々の生徒の実態をふまえ、課題設定や適切な支援のありかたを考えた取り組みができた。 ・自分から進んで挨拶すること、場に応じたふるまいや言葉遣いをする大切さを日常的に伝えたり、集会活動等であらためて話し、日頃の自分自身の行動を振り返り、意識をたかめていくようにしたい。	
総務	7	余裕をもって月行事予定が示され、見通しのもてる計画であったか。	54%	46%	0%	0%	0%	7							B	行事予定については事前に各部署から予定を集約することで、一定の見通しをもって提案することができた。引き続き各部署の意向を踏まえながら、事前に調整が可能かどうか、学校全体の流れを丁寧に考慮して検討していきたい。	
	8	他の予定との関係で無理な計画となっていないか。	42%	58%	0%	0%	0%	8							B		
教務	9	各児童生徒の目標設定や評価、情報共有ができるよう、指導検討会の日程が設定されていたか。	38%	54%	4%	0%	4%	9	保護者懇談の回数や日程は、適切でしたか。	32%	58%	10%	0%	0%	B	・指導検討会については、他の行事、会議等との日程調整をしながら設定をすることができた。懇談の回数についてご意見を頂いたが、情報共有の貴重な時間でもあるので、今のペースで今後もやっていきたい。	
	10	重点目標と各教科等・領域の目標を関連づけて設定できたか。	23%	73%	0%	0%	4%	10	保護者懇談では、担任とお子様の成長や課題・支援の仕方について話し合うことができましたか。	42%	47%	11%	0%	0%	B	・重点目標を個別の指導計画の目標に落とし込んだことで、関連付けた目標設定を行うことができた。今後も周知徹底をしていきたい。 ・毎回の懇談が負担にならないように、話す内容を明確にして、必要な情報を共有できる時間にしていきたい。	
研修相談	11	対象児童生徒の優先課題を設定し、授業づくりシートを使用しながら研究グループで話し合ったことは児童生徒の課題に迫る授業づくりに役立ったか。	31%	69%	0%	0%	0%	11							B	公開授業・研究協議への参加について全校で協力していただけたことが充実につながった。授業づくりシートを改善しながら研究を継続していくことで授業づくりの充実を図ってきたい。	
	12	外部講師を招聘し行った研修会は児童生徒理解の深まりや支援の充実につながったか。	38%	62%	0%	0%	0%	12							B	研究グループからのニーズに応える形で研修会を企画したことで、的を絞った助言をいただくことができた。ニーズを把握して事前準備を計画的に進めることで充実した研修となるよう努めていきたい。	
生徒指導	13	「教職員の心得」の周知を図り、人権意識を高めるための取り組みを定期的に行うことができたか。	31%	65%	4%	0%	0%	13	教職員は、児童生徒の名前の呼び方や話し方など、児童生徒の人権に配慮し、適切に関わることができていましたか。	53%	37%	0%	0%	10%	B	適切に関わっていきけるよう、今後も研修会の実施や教職員の心得の周知徹底を図っていく。教職員の心得(12項目)を、教職員用の月間行事予定表に1項目づつ記載してもらい、意識してもらえようにした。	
	14	進路希望調査を実施し、保護者の希望やニーズを把握することができたか。	23%	73%	4%	0%	0%	14	現場実習が充実していると思いますか。	21%	53%	21%	0%	5%	B	担任教員と連携しながら聞き取り調査を行い、進路希望や保護者のニーズを把握することができた。学校だより、学年だより、進路相談会等で現場実習の様子や就労に関する情報を提供することができたが、保護者のニーズに応じきれない部分もあった。今後は、今回の聞き取り調査の結果に応じた、進路研修会の開催や進路だよりの発行をしていきたい。就労の形態や就労までの流れ等について知りたいという意見も多いため、それらについて保護者に分かりやすく伝える方法や手段を検討していきたい。	
進路指導	15	担任と連携し保護者に情報提供をすることができたか。	27%	69%	4%	0%	0%	15	お便りや懇談等において、進路に関する情報の提供は十分だと思いますか。	11%	50%	17%	0%	22%	B		
	16	学校施設の維持管理が適正に行われ、危険箇所の把握と必要な修繕が速やかに行われ、児童生徒や教職員が安全に生活することができたか。	52%	45%	0%	0%	3%	16	学校施設の維持管理が適正に行われ、危険箇所の把握に必要な修繕が速やかに行われ、児童生徒や教職員が安全に生活することができましたか。	30%	45%	10%	0%	15%	B	学校施設の維持管理については、10月から隠岐地区の県立学校において外部企業による施設管理一元化事業がスタートしたので必要な修繕がよりタイムリーに行えるようになった。来年度以降も校内の安全点検との連携によって引き続き施設の適正な管理を図りたい。	

1 そう思う 2 思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 わからない ※設問9、10、11は、1 ある 4 ない 5 わからない

部	17	学校の来校者や電話対応が迅速かつ丁寧でき、相手に不信任、不安感、不快感を与えることはなかったか。	52%	45%	0%	0%	3%	17	学校の来校者や電話対応が迅速かつ丁寧でき、相手に不信任、不安感、不快感を与えることはありませんでしたか。	50%	50%	0%	0%	0%	A	窓口業務における接遇については、常に学校の顔であるということを事務室が一体となって対応できたのではないかと考えています。	A
---	----	--	-----	-----	----	----	----	----	--	-----	-----	----	----	----	---	--	---